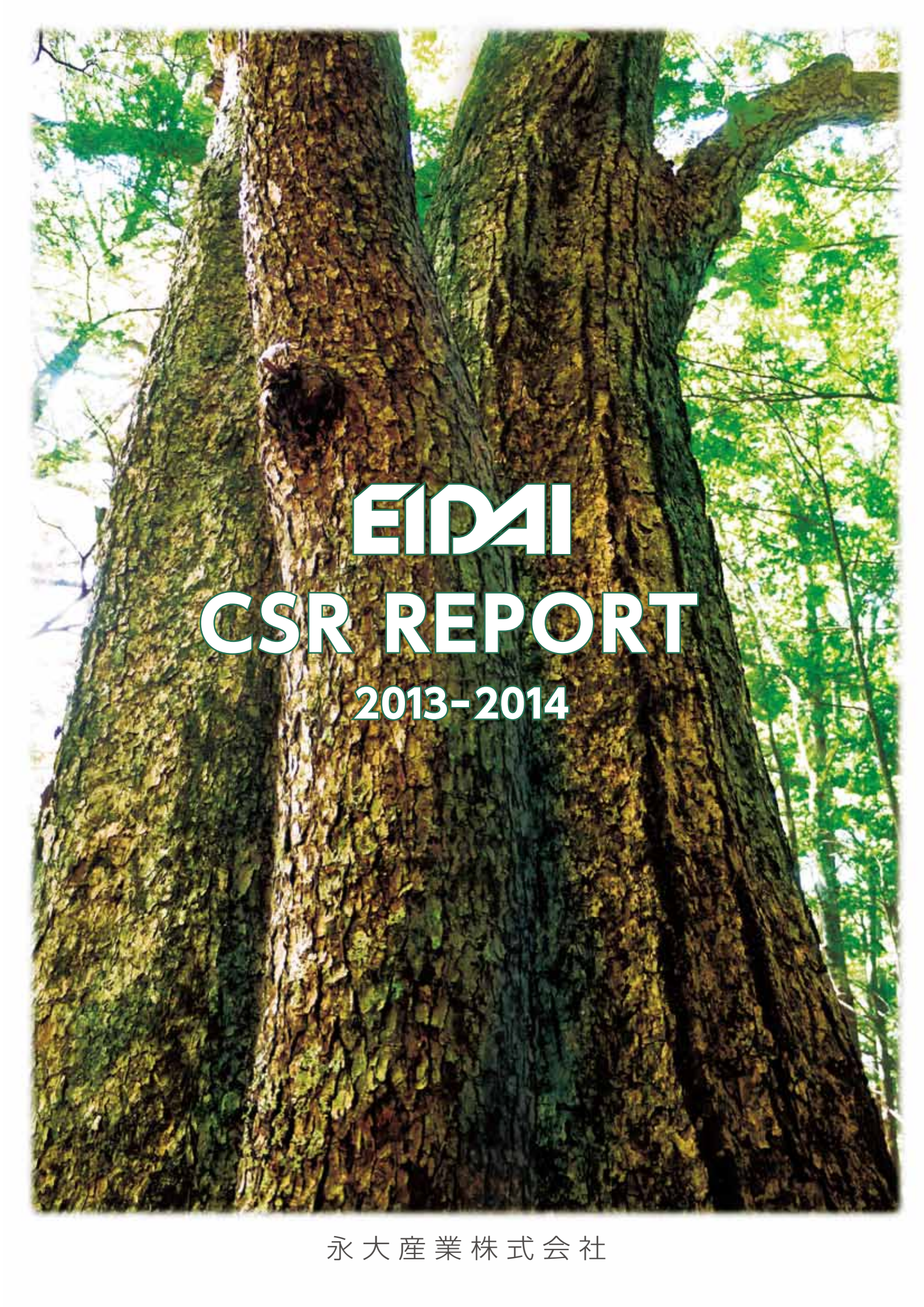




EIDAI

CSR REPORT

2013-2014

永大産業株式会社

木を活かし、よりよい暮らしを

人は遥か昔から「木」と暮らしをともにし、自然と調和してきました。

しかし一方で人は物質的な豊かさを求め過ぎるあまり、

深刻な環境破壊を引き起こし、

その結果、真の豊かさとは何かを見失ってしまいました。

私たちは住まいづくりの中で「木」を活かし、よりよい暮らしを実現することこそ、

本当の豊かさであると確信しています。

ただしそれは、この地球で「共に生きる」という思想のもと、

持続可能な社会が確立して初めて可能になる、と考えています。

永大産業はそのような社会を構築するため、

地球、社会、人との共生を通じて環境保全に取り組み、

なお一層、社会に貢献する企業であり続けることを目指しています。

永大産業は、持続可能な木材資源の利用を推進するかわら、役目を終えた木製品や木質廃材が再び社会で利用されるよう、独自のリサイクルシステムで地球環境の保全に努めて参りました。当社は環境との調和を重んじ、地球との共生を継続していきたいと考えています。



永大産業は、社会の公器としての立場を認識し、広く情報公開を行い、透明性の高い経営に努めます。当社は法令を遵守し、社会的利益の還元を積極的に行うことで、これからも社会との共生を尊重していきたいと考えています。

永大産業は、誰にとっても健康的であり、なおかつ安全、安心に使えるモノづくりを目指しています。当社はそれら製品の使い易さ、快適さをさらに追求することで、人との共生をかたちにしたいと考えています。



わが国の健全な森づくりに貢献するため、当社は積極的に国産材を使用した「日本の森活性化フローリング 里床・ツキ板」を発売しました (P7~8)



超高齢社会における様々なライフスタイルに対応し、家族全員が安心、安全、快適に暮らせる住まいづくりを提案しています (P9~10)

編集方針

発行の目的

本報告書は、永大産業の環境、社会、企業統治に関する活動を、広く知っていただくために発行するものです。

編集方針

編集にあたっては、企業としての社会的責任を明確にし、環境および社会性報告、さらに企業統治の取り組みを詳しく説明することを重視しました。

報告対象範囲

永大産業株式会社
一部グループ会社の報告を含みます。

対象期間

2012年度(2012年4月~2013年3月の活動を掲載していますが、一部2013年度の取り組みも報告しています。

次回発行時期

2014年9月発行予定

参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)
(財)日本規格協会「ISO26000:2010」

CONTENTS

- 1 基本理念
- 2 目次/編集方針
- 3 トップメッセージ/会社概要
- 5 事業紹介



トピックス TOPICS

- 7 [環境] 健全な森づくりに貢献
- 9 [社会性] 超高齢社会におけるライフスタイルを提案



環境報告 ENVIRONMENTAL REPORT

- 11 環境方針
- 12 木を活かした環境保全への取り組み
- 13 地球温暖化防止への取り組み
- 14 リサイクル活動の推進
- 15 化学物質の管理・抑制/原材料調達
- 16 環境マネジメントシステム
- 17 マテリアルバランス 環境会計



社会性報告 SOCIAL REPORT

- 19 お客様とともに(消費者課題)
ショールーム お客様相談センター ホームページ
- 20 営業体制 物流体制 品質管理
- 21 地域社会とともに(コミュニティへの参画)
- 22 従業員とともに(労働慣行・人権)



コーポレート・ガバナンス CORPORATE・GOVERNANCE

- 23 コンプライアンス/コーポレート・ガバナンス
- 25 リスクマネジメント
- 26 公正な事業慣行

お問い合わせ先

〒559-8658
大阪市住之江区平林南2-10-60
永大産業株式会社 経営企画部CSR推進室
TEL 06-6684-3062
FAX 06-6684-3068

TOP MESSAGE

より良い製品を提供し、 社会に貢献します

先進諸国は化石エネルギーを大量に消費し、経済発展を遂げました。世界的な人口の増加に加え、新興国が化石エネルギーの消費を増やした結果、資源やエネルギーの不足が大きく問題視されるようになりました。わが国も豊かな暮らしを手に入れた反面、地球温暖化の進行が原因と見られる局地的な異常気象により、多くの生命や財産が危険にさらされているのが実状です。

経済成長と持続可能な社会の両立が、今日ほど求められている時代はないでしょう。これは国の問題だけではなく、社会を構成する企業にもそのまま当てはまります。永大産業では「木を活かし、よりよい暮らしを」という基本理念のもと、その具現化に努めてまいりました。当社は今後も環境保全に取り組み、社会に貢献することが重要であると考えています。

国産材を活用した製品開発を推進

地球温暖化の進行によって、自然災害による被害が年々拡大しています。地球温暖化を抑制するためには、大気中の二酸化炭素を減らす努力が必要です。森林は二酸化炭素の吸収源として有望視されていますが、伐期を迎えても利用されことなく放置されたわが国の森林

は、その機能を十分発揮できません。この反省から国は、公共建築物等木材利用促進法の制定など、国内の森林活性化のための様々な支援策を打ち出しました。

当社もこのような取り組みに積極的に参画していくため、杉、桧等の国産針葉樹を使用し、当社の様々な技術を用いて耐摩耗性や耐傷性などを高めた「日本の森活性化フローリング里床(ツキ板)」を開発いたしました。

将来を見据えた居住空間を提案

国内に目を移すと、今やわが国は国民の4人に1人が高齢者という世界でも突出した超高齢社会となっています。その対応が急がれる中、住まいについても高齢者ご自身やそのご家族が、安全に安心して暮らしたいというニーズは高まる一方です。

当社では、そのような社会的ニーズに対応した「セーフケアプラス」製品群を開発し、昨年度はさらなる品揃えの拡充を図ってまいりました。また、超高齢社会におけるよりよい住まいのあり方を提案したカタログ「セーフケアプラススタイルブック」を発刊しました。今後は「セーフケアプラス」製品群を一般住宅だけでなく、サービス付き

会社概要

社名	永大産業株式会社(Eidai Co., Ltd.)
創業	1946年7月29日
本社所在地	大阪市住之江区平林南2丁目10番60号
資本金	32億8530万円(2013年3月末日現在)
従業員数	961名(2013年3月末日現在)
事業内容	住宅資材および木質ボードの製造・販売
上場	東京証券取引所 市場第一部(証券コード:7822)
製造拠点	■ 大阪事業所(堺市西区) 室内ドア・フロゼット・システム収納・造作材・ シューズボックス・システムキッチン ■ 敦賀事業所(福井県敦賀市) フローリング・一体型床暖房・室内階段・パーティクルボード ■ 山口・平生事業所(山口県熊毛郡平生町) フローリング・パーティクルボード

グループ会社	■ 永大小名浜(株)(福島県いわき市) 室内ドア・フロゼット・システム造作材・室内階段・パーティクルボード ■ Eidai Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム国ハナム省) フローリング ■ エヌ・アンド・イー(株)(徳島県小松島市) MDF
--------	---

営業拠点

札幌、青森、盛岡、仙台、山形、福島、新潟、宇都宮、茨城、群馬、埼玉、千葉、柏、東京(新宿、東上野、立川)、相模原、横浜、山梨、長野、金沢、静岡、名古屋、三重、京都、大阪(梅田、住之江)、神戸、姫路、岡山、広島、米子、山口、高松、松山、北九州、福岡、長崎、熊本、鹿児島、沖縄

ショールーム

札幌、仙台、新宿、立川、新潟、宇都宮、金沢、静岡、名古屋、京都、梅田、岡山、広島、博多、沖縄

高齢者向け住宅や介護保険施設等にも提案し、将来を見据えた住まいを提案していく予定です。

木材資源を有効利用したものづくりを展開

東日本大震災以降、原子力発電所の停止に伴って電力不足が顕著化し、住宅業界では、太陽光、バイオマス燃料などの再生可能エネルギーやスマートハウスに注目が集まるようになりました。

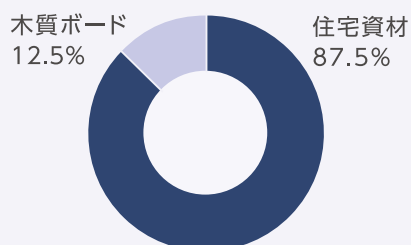
再生可能エネルギーについて当社は、20年前からバイオマス燃料を用いた発電や蒸気エネルギーの創出に取り組み、これらのエネルギーを生産活動に有効活用することで化石燃料の使用を抑制し、環境への負荷を低減するものづくりを展開してきました。

わが国の環境問題や社会問題の解決には長い時間が必要です。当社はこれらの問題について継続的に取り組み、地球環境や人に配慮した住まいに役立つ製品を生産することによって、これからも社会から求められる企業を目指す考えです。

代表取締役社長
大道正人



事業別売上比 (連結)



営業利益 (連結)



経常利益 (連結)



売上高 (連結)



総資産 (連結)



純資産 (連結)



事業紹介

より豊かな住まいづくりを目指しています

永大産業では、自然素材である木を活かし、暮らしに役立つ様々な製品を開発、供給することで、より豊かな住まいづくりの実現を目指しています。

フローリング・室内階段

素材を厳選し、
環境等に配慮した製品を開発しています。

国産材や森林認証材などの森林資源を活用し、フローリングや室内階段セットなどの製品を開発、生産しています。中高層市場向けの遮音フローリングや床暖房をはじめ、安心・安全で高品質、施工性に優れた製品の品揃えを図っています。

建材事業部

取扱製品

フローリング、一体型床暖房、壁材、エクステリア部材、
室内階段、室内階段廻り部材



1F



システムキッチン・サニタリー・バス

美しく機能性に富む水まわり製品を
供給しています。

空気環境への配慮など「LDKの快適性」の向上に取り組んだシステムキッチンをはじめ、美しく、機能性に富む水まわり製品を提供しています。

住設事業部

取扱製品

システムキッチン、洗面台、システムバス



室内ドア・造作材・収納

最先端のデザインを製品に反映させるとともに、短納期を実現しています。

常に次のトレンドを意識し、最新のデザインを室内ドアやクロゼット、シューズボックスなどの製品に取り入れています。また、見積りから納品まで一貫したシステムを構築することで、短納期を実現しています。

内装システム 事業部

取扱製品

室内ドア、造作材、カウンター、クロゼット、シューズボックス、システム収納



2F



パーティクルボード

不用になった木質製品と未利用材を活用し、木材資源の有効利用を推進しています。

不用になった木質製品を焼却せず、マテリアルリサイクルを行い、炭素を固定化することで二酸化炭素の発生を抑制し、環境保全に寄与しています。さらに超低ホルムパーティクルボードの生産も行っています。

パーティクルボード 事業部

取扱製品

パーティクルボード



POINT

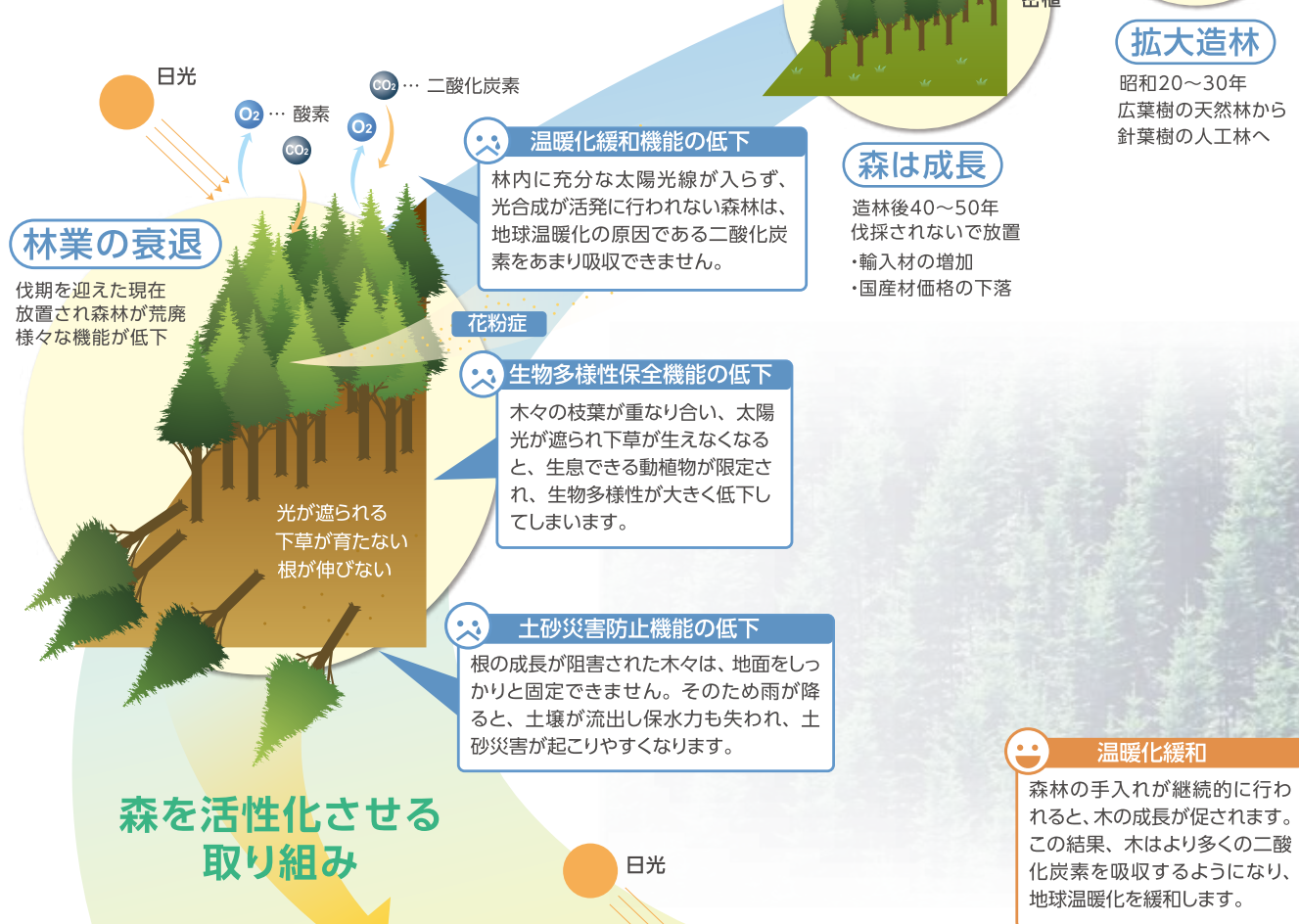
当社の化粧パーティクルボードは、表面にリサイクル可能なシートを用いていますので、長年使用した後、パーティクルボードの原材料として再生利用できます。

国産材を積極的に活用

技術を活かし、国産材の製品開発に取り組んでいます

日本の森が抱える問題

わが国は世界有数の森林国です。豊かな森林資源に恵まれながらも、一方では手入れがなされず、放置された森林が増え続けています。その結果、土砂災害防止や二酸化炭素の吸収という森林の機能の低下が大きな問題となっています。

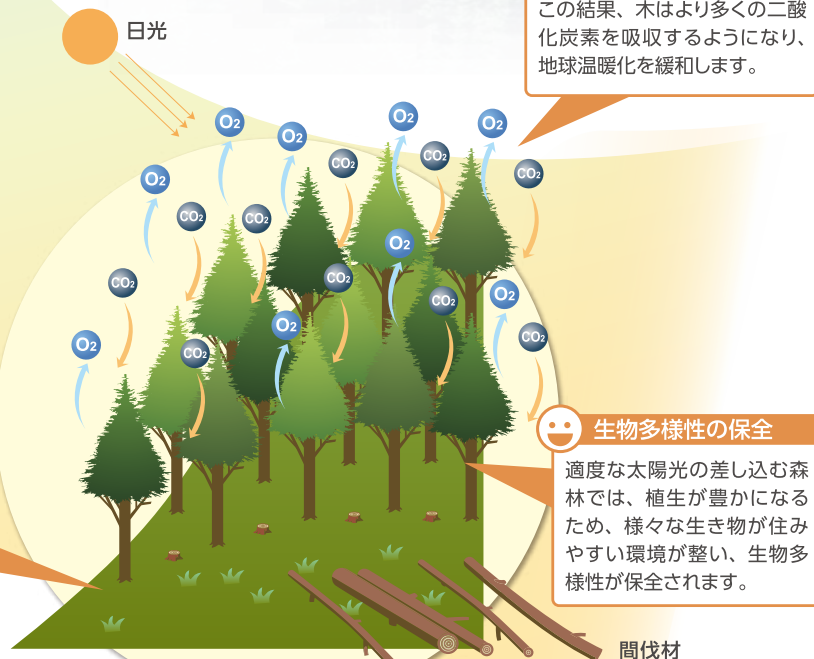


森を活性化させる
取り組み

理想的な森の姿

日本の森林が抱える問題を解決するためには、適度な間伐を行い森林を手入れするとともに、国産材を利用して森林の活性化を図ることが重要です。この活動を継続的に行うことによって森林は再び、本来の機能を発揮するようになります。

自然災害の防止
手入れの行き届いた森林は、よく成長した木の根が地面を押さえ、土壌の流出を防ぐため、雨が降っても土砂災害が起こりにくくなります。



わが国の取り組み

急傾斜地の多いわが国では、木材の搬出にかかるコストが輸入材に比べて高くなりがちです。国産材の価格競争力を高めるとともに、自然災害の防止や地球温暖化の緩和を進めるため、国は様々な補助事業で木材自給率を引き上げる取り組みを行っています。

木材の自給率上昇へ

わが国の木材自給率は2012年現在、27.9%であり、国は林業・再生プランのなかで2020年に木材自給率を50%以上とする計画を立てています。

木材利用ポイント事業

国は、地域材の適切な利用により、地球温暖化の緩和や農村地域の振興を目的に木質化工事などの際にポイントを付与する事業を行っています。

永大産業の取り組み

当社は、材質の表面硬度を高める圧密加工技術や、木材特有の狂い、そりを抑える形状安定化処理技術を活かして、国産材フローリングなどの開発、生産を行ってきました。また、国産材を利用した木質ボード(MDF)をフローリングの基材に用いる取り組みも行ってきました。このような技術を取り入れて開発した「日本の森活性化フローリング 里床(ツキ板)」は、木材利用ポイント事業の対象登録製品となっています。

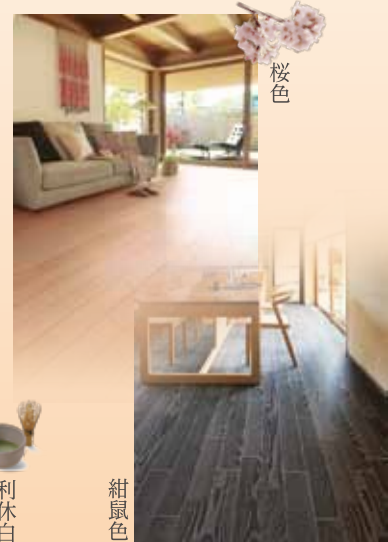
里 床

日本の森活性化フローリング
里床(ツキ板)

木材利用
ポイント事業
対象製品



利休白茶色

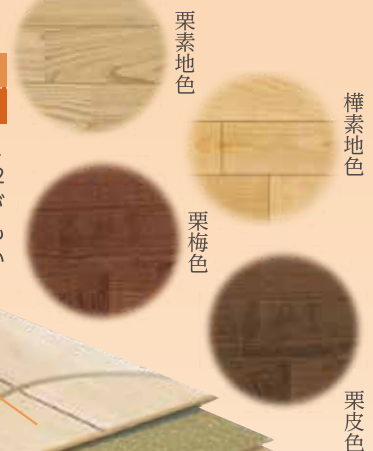


桜色

紺鼠色

表面材・ツキ板 国産材 栗・樺

日本人が愛する樹のなかから、モダンな装いにもよく映える2樹種を選びました。栗は年輪がはっきりとした美しい木目を持ち、樺は木目が均一でやさしい表情が特徴です。



基材・MDF

国産材 針葉樹 70%以上

合板と表面材の間に挟みこんだ木質ボード(MDF)の原材料には、森林を健全化するために間伐された国産材針葉樹が含まれています。

基材・合板

国産材 針葉樹 100%

国産の杉、桧等の針葉樹合板を、フローリングの基材に使用し、国産材の用途拡大に貢献しています。

国産材の利用を推進します

当社はこれからも国産材の利用を推進し、フローリングをはじめ様々な製品を開発してまいります。

VOICE
従業員の声

高品質と安定供給を目指します

わが国にある豊富な森林資源を活かした製品を企画開発し、高品質で安定的な供給を図ることが、私たち木質建材メーカーの使命ととらえています。これからもわが国の森林活性化につながる取り組みを、継続していく所存です。



建材事業部 商品一課

手塚 裕

超高齢社会におけるライフスタイルを提案

「セーフケアプラス」製品群で、安心、安全、快適な生活の実現に努めます

超高齢社会を迎えたわが国の住まい

厚生労働省のまとめによると、高齢者のいる世帯数は2012年に「2093万世帯」となり、その割合は約15年間で10ポイント増えて、43%となりました。超高齢社会を迎えたわが国では、高齢者やその家族の、多様化する家族のかたちに応じて、安全、安心で、より快適な住まいづくりが求められるようになっていきます。



高齢者のいる家族

シニアの世帯と子どもの世帯が、お互いのプライバシーを守れるよう工夫すれば、より充実した毎日を楽しむことができます。



高齢になる親が同居

同居に合わせてバリアフリーのリフォームを行えば、シニアの世帯もより一層安全、安心して生活することができます。



超高齢社会の家族のかたち

子育てが終わって子供が独立

子育てが終わって子どもが独立すると、空いた子ども部屋を書斎やホビールームにリフォームすることで、さらに余暇を楽しめるようになります。



将来を見据えた住まい

加齢とともに身体機能が衰えても、安心して暮らせるように、将来を見据えた住まいづくりが大切です。



超高齢社会の様々な家族のかたちに応じた住まいが必要です。

セーフケアプラス スタイルブックを発行

当社は、シニア向けの「セーフケアプラス」製品群と、家族の安全、安心に配慮した豊富な種類の製品を組み合わせ、超高齢社会におけるよりよい住まいのあり方を提案したカタログ「セーフケアプラス スタイルブック」を発刊しました。



超高齢社会をサポートする製品



豊富な製品バリエーションで、 様々な家族のかたちに対応した空間を提案します。



段差がなく、広い間口と高さのある室内ドアを用いて、リビングの一部に開放感のある和風の空間を設ければ、家族のコミュニケーションの輪がさらにひろがります。



足元の広い洗面台を設置すれば、椅子に座りながらでも楽に洗髪することができます。



玄関を収納で間仕切ることによって、家族それぞれの用途に合わせた動線をつくることができます。



座ったままの楽な姿勢で料理を楽しめるキッチンを設置すれば、調理の負担を減らすことができ、非常に便利です。



ペットに配慮したフローリングや室内ドアならば、子育てを終えた世代が、新しくペットを家族の一員として迎えても安心です。



高齢者の住居

超高齢社会を迎えた今日、高齢者に配慮した一般的な住宅だけでなく、生活支援や介護サービスなどを伴う高齢者向けの施設も増えつつあります。当社では、年齢を重ねても安全、安心、快適に暮らせるよう、そのような高齢者向けの住宅や施設に対応した製品も発売していきます。

介護保険施設

- 特別養護老人ホーム
- 介護老人保健施設

居住施設

- 有料老人ホーム
- ケアハウス
- グループホーム

様々な高齢者施設に
対応する製品を
発表していきます。

賃貸住宅

- サービス付き高齢者向け住宅
- シルバーハウジング





環境

ENVIRONMENT

環境方針

永大産業では、環境に配慮し、持続可能な社会の実現に寄与するため、環境方針を定めています。当社の環境方針は「基本方針」と「行動指針」から構成され、「行動指針」には、とくに注力すべき具体的活動の内容について明示しています。

＝ 基本方針 ＝

永大産業は、地球、社会、人との共生を通じて、
環境保全に取り組み、
なお一層の社会貢献を目指します。

行動指針

1 企業活動



1 温室効果ガス削減

エネルギー、水資源を有効に活用し、
温室効果ガス排出量の削減に努めます。



2 3Rの推進

Reduce (発生抑制)、Reuse (再使用)、Recycle (再利用) の
3Rを推進し、循環型社会の発展に寄与します。



3 化学物質の管理・抑制

管理基準を設定し、環境負荷の大きな物質の
使用・排出を抑制します。



4 環境に配慮した木材調達

森林認証材、中でも植林木を積極的に採用し、
環境に配慮した資材の比率を高めます。

2 社会的責任

法令を遵守し、地域との連携を深め、
広く社会から評価される企業を目指します。

3 情報の開示

企業活動に関する情報は随時、開示します。

環境配慮木材

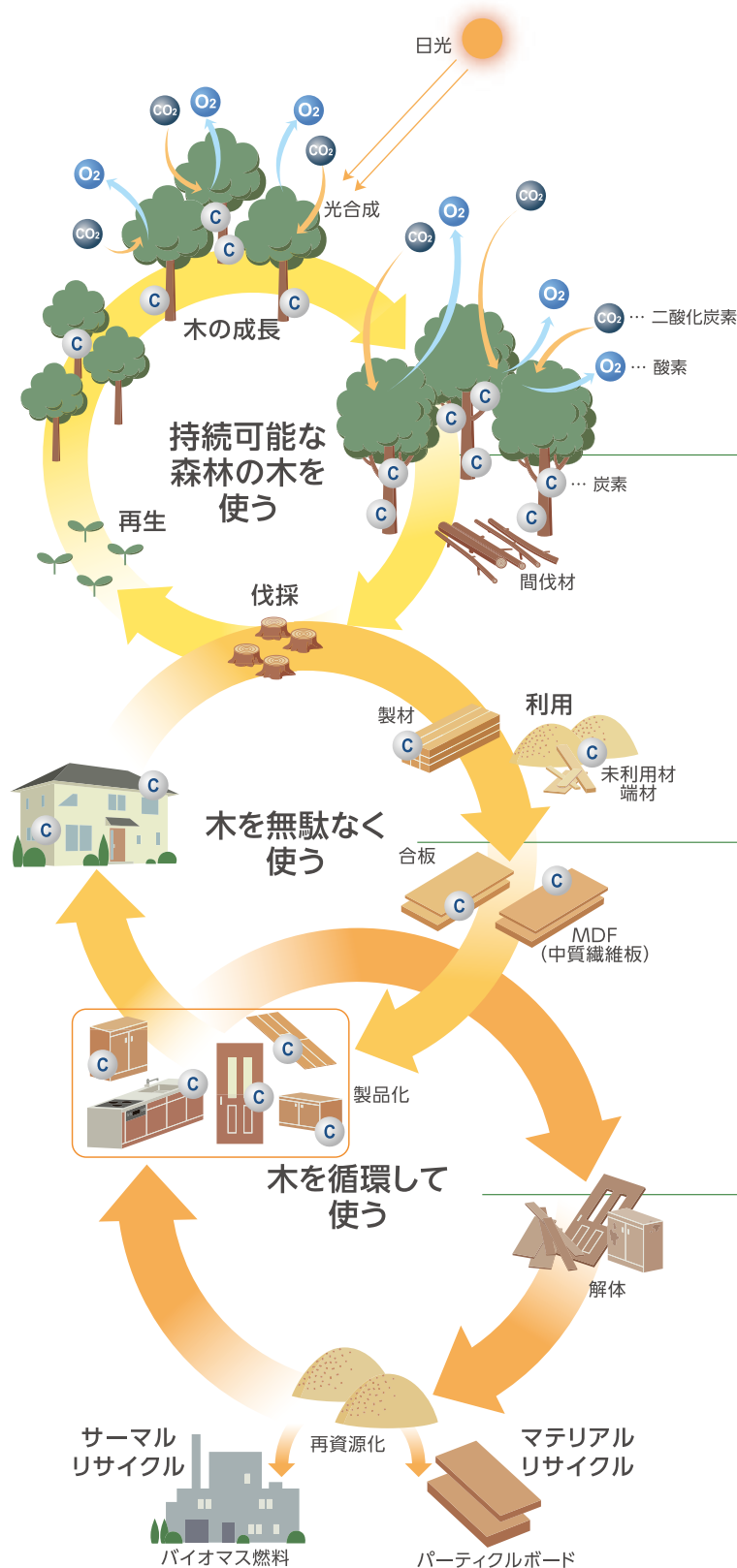


木を活かした環境保全への取り組み

「木」は地球にやさしい資源です
 永大産業は、木を活かした
 循環の輪を広げていきます

「木」は再生できる地球にやさしい資源です。「木」の有効利用を図るには、「持続可能な森林の木を使う」「木を無駄なく使う」「木を循環させて使う」ことが重要です。当社はこの「3つの循環の輪」に沿って事業を展開することにより、なお一層、地球環境の保全に取り組んでいきたいと考えています。

木を活かした3つの循環の輪



年間12万トンの炭素を固定

低炭素社会の構築には、CO₂(二酸化炭素)の抑制が重要です。循環可能な生物資源である木は、大気中のCO₂(二酸化炭素)を取り込んで、C(炭素)を固定しながら成長していきます。しかし、自然に木が枯れると、固定されていたC(炭素)がO₂(酸素)と結びつき、再びCO₂(二酸化炭素)となって排出されてしまいます。

このような木のもつ働きに着目して、住宅に多く木製品を使用すれば、それだけ長期間にわたり固定できるC(炭素)の量も増えることになります。

永大産業は環境配慮木材を用いた木製品の供給を通じて、12万トン(2012年度)の炭素を固定しました。これは44万トンの二酸化炭素の排出を抑制したことに相当します。

持続可能な森林の木を使う

貴重な森林資源を継続的に利用するため、永大産業は製品の原材料に、森林認証材や間伐材、適切に管理された植林木などを積極的に採用しています。当社は持続可能な森林の木を使うことにより、森林環境の保護に貢献しています。

木を無駄なく使う

木材資源を無駄なく利用するため、永大産業は未利用材や木製品の生産工程で生じる端材を、木質ボードの原材料に活用しています。またこの木質ボードを用いて製品化を行っています。

木を循環させて使う

不用になった木質製品を再資源化するため、永大産業ではこのような製品から木質ボードを生産し、さらにその木質ボードを利用して製品を生産しています。また、バイオマス燃料に利用して、再生可能エネルギーを創出しています。

地球温暖化防止への取り組み



より一層、温室効果ガスの削減に努めます

温室効果ガスは基準年度比14%減

温室効果ガスの排出量は2年連続で前年度実績を上回り、2012年度は前年度比19%増となりました。主な原因は原子力発電の停止に伴い、電力会社の温室効果ガス排出係数が大きく上がったことによるもので、生産量の増加による影響は軽微でした。基準年度の2006年度と比較すると、最終的に14%の減少を達成しています。

温室効果ガス排出量 推移一覧表

(単位: t-CO₂)

部門		基準年度 2006年度	2011年度	2012年度	前年度比	基準年度比
製造	大阪	2,086	2,263	3,438	+52%	+65%
	敦賀	23,350	17,330	26,475	+53%	+13%
	山口	33,376	20,556	20,339	-1%	-39%
3製造拠点合計		58,812	40,149	50,252	+25%	-15%
	物流	22,115	18,205	19,244	+6%	-13%
	営業	2,041	1,302	1,401	+8%	-31%
	本社	1,200	962	1,229	+28%	+2%
合計		84,168	60,618	72,126	+19%	-14%

温室効果ガスの算出方法について

電力使用による温室効果ガスは、全て各電力会社の「実排出係数」を用いて算出しています。

製造部門別の電力使用量と温室効果ガス排出量

当社では電力使用による温室効果ガスの排出量を、各電力会社が年度ごとに発表する「実排出係数」を用いて算出しています。2012年度は原子力発電所の停止により、「実排出係数」の数値が前年度に比べ非常に大きくなった電力会社がありました。この結果、当社の電力使用量は前年度比4%増にとどまりましたが、温室効果ガスの排出量は同25%増となりました。

部門	種別	基準年度 2006年度	2011年度	2012年度	前年度比	基準年度比
大阪	電力使用量	5,499	6,884	7,357	+7%	+34%
	排出係数	0.358	0.311	0.450		
	排出量	1,969	2,141	3,311	+55%	+68%
敦賀	電力使用量	37,052	29,779	31,582	+6%	-16%
	排出係数	0.407	0.423	0.641		
	排出量	15,080	12,596	20,244	+61%	+34%
山口	電力使用量	30,676	20,315	20,513	+1%	-33%
	排出係数	0.668	0.728	0.657		
	排出量	20,491	14,789	13,477	-9%	-34%
電力使用量合計		73,677	56,978	59,452	+4%	-19%
排出量合計		37,540	29,527	37,032	+25%	-1%

※温室効果ガスを算出するにあたり、電力の換算係数は2006年度、2011年度、2012年度とも管内電力会社の実排出係数を利用

単位/ (電力使用量:千kwh) (排出係数:t-CO₂/千kwh) (排出量:t-CO₂)

VOICE
従業員の声

適正な電力使用に取り組みます

大型の生産設備が稼動する事業所内では、エネルギー源である電力の安定供給が不可欠です。電気設備のメンテナンスを正しく行い、スムーズにラインが流れる状況を維持するとともに、不要な電力は遮断して節電に努め、適正な電力使用に取り組めます。



山口生産管理部 生産技術課

大野 泰弘

用語解説

実排出係数

電力事業者の活動(発電)に伴って排出される温室効果ガス(CO₂)を算定するために用いる係数をいう。電力事業者が火力、水力、原子力などの発電方法のうち、年度ごとにどのような比率で発電しているかによって、係数の値も変わる。

調整後排出係数

電力事業者が、国や団体がやっている温室効果ガス(CO₂)の排出量取引などにに基づき排出量を購入することで、実排出係数から一定量の排出量を控除した係数をいう。

リサイクル活動の推進



木を活かし、リサイクル活動を展開しています

マテリアルリサイクル 「パーティクルボード」

● 循環型社会の形成に貢献する製品 「パーティクルボード」を生産しています

焼却、腐朽しない限り炭素を固定し続ける木の特性に着目し、永大産業は木のマテリアルリサイクル(再生利用)に力を入れています。当社は使用されなくなった木質製品等を原材料に、パーティクルボードを生産して循環型社会の形成に貢献しています。また化粧パーティクルボードのなかには、マテリアルリサイクルができないものもありますが、当社の化粧パーティクルボードはそのまま原材料に還元できます。



サーマルリサイクル 「バイオマス発電／バイオマスボイラー」

● 生産に使用するエネルギーの一部を 再生可能エネルギーで賄っています

近年、環境への負荷が低い再生可能エネルギーとして、バイオマス発電が注目されています。山口・平生事業所では、バイオマス発電設備によるエネルギーの有効利用に取り組み、2012年度は同事業所で使用する全電力の約26%をバイオマス発電でまかないました。また、山口・平生事業所、敦賀事業所ではパーティクルボードの生産に必要な蒸気エネルギーの一部を、バイオマスボイラーから得ています。



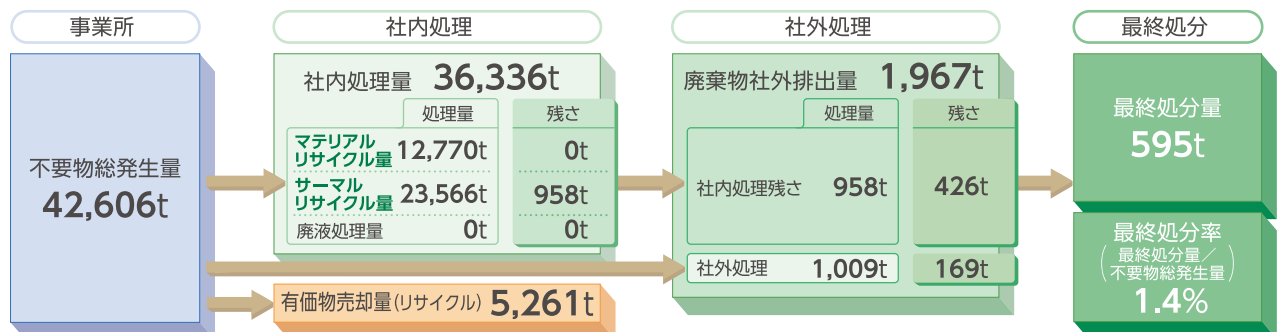
バイオマス発電所(山口・平生事業所)

バイオマスボイラー(敦賀事業所)

産業廃棄物削減への取り組み

● ゼロエミッション

永大産業では、資源の有効活用を図り、再資源化に努めることによって、環境負荷の低減に取り組んでいます。



社内処理と分別活動に力を入れています

当社では最終処分率を可能な限り引き下げるため、不要物の社内処理と、分別活動の徹底による有価物売却に力を入れています。社内処理では木質製品の生産に伴う木くず等がほとんどを占め、これらの木くず等に対してはマテリアルリサイクル、またはサーマルリサイクルを行います。その過程で出た残さについては社外で適正に処理しています。この結果、2012年度の最終処分率は1.4%となりました。

「ゼロエミッション(Zero Emission)」とは、使用する資源を最小限にとどめ、なおかつ事業活動を通じて排出される廃棄物などを、再資源化して活用し、全体として廃棄物を出さない生産のあり方を目指すものです。一般的に製造業では、最終処分率を2%以下にすることが目安となっており、永大産業の2012年度最終処分率は1.4%でした。

化学物質の管理・抑制

3



安全性の高い接着剤や塗料を使用しています

● 低ホルムアルデヒドへの取り組み

F★★★★

シックハウス症候群や、化学物質過敏症を引き起こさない安全な製品づくりを目指し、永大産業の製品はホルムアルデヒド発散等級の最上位規格(F☆☆☆☆)を取得しています。



● 低VOCへの取り組み

低 VOC

当社はホルムアルデヒドなど13の化学物質について自主基準を設けており、安全データシート(SDS)で厚生労働省の定める指針対象物質が確認できない場合でも、小型チャンバー法に準拠した測定法で不使用を確認しています。

● 4VOC基準適合の自主表示を実施

4 VOC 基準適合 (木質建材)

空気汚染を引き起こすVOC(Volatile Organic Compound:揮発性有機化合物)のうち、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCについては、「4VOC基準適合」(木質建材)の自主表示を実施し、その情報を製品カタログ等でご案内しています。



VOICE

従業員の声

より安心できる製品の開発に注力します

お客様の健康に配慮した製品をお届けするため、開発段階における接着剤、塗料の安全性を徹底的に追求するとともに、実用化にいたった製品の検査を実施しています。今後もお客様がより安心して使用できる製品の開発に力を入れていきます。



建材事業部 開発室

奥山 利彦

原材料調達

4



環境や健康に配慮し、製品の品質向上につながる原材料を調達します

● フローリング原材料調達指針を策定

当社はフローリングのメーカーの責務として、原材料の環境への配慮にとどまらず、ユーザーの健康や製品の品質向上等につながることを目的とし、2013年6月、フローリング原材料調達指針を策定しました。

- ・耐摩耗性
- ・耐へこみ傷
- ・床暖房対応
- ・ヒビ割れ防止
- ・遮音性能
- ・耐衝撃性
- ・防滑性

品質

- ・耐キャスト
- ・車椅子対応
- ・耐アンモニア ペット対応
- ・ワックスフリー

以下の原材料の調達に努めます

木材資源

- 森林認証材および同等の森林管理がなされている木材
- 国土の保全や林業の活性化に寄与する国産材
- 廃木材、未利用材、二次利用材、端材
- 環境保全や森林資源の維持に貢献する木材

塗料・接着剤等

- 健康に配慮した環境負荷の低い材料、またはその材料の開発
- 品質において高い性能を発揮できる材料、またはその材料の開発
- 高い意匠性が発揮できる材料、またはその材料の開発

健康

- ・F★★★★
- ・4VOC基準適合
- ・厚生労働省13物質低VOC対応
- ・(M)SDS PRTR管理
- ・抗菌加工

フローリング

環境

- 合法木材
- 森林認証材
- 国産材 間伐材
- 未利用材
- 二次利用材

意匠

- ・3Dメイク
- ・木肌美塗装
- ・R溝加工
- ・クリスタル塗装
- ・ナチュラルハード塗装
- ・フラット塗装
- ・幅広デザイン

環境マネジメントシステム

ISO14001に基づいて、環境負荷低減を推進しています

環境保全運動の取り組み

永大産業グループでは、環境マネジメントシステム (Environmental Management System) の国際規格ISO14001を遵守し、生産活動における環境負荷のさらなる低減に取り組んでいます。



大阪事業所



- 認証取得日：2003年10月31日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
 - ・室内ドア ・フロゼット ・システム収納 ・造作材
 - ・シューズボックス ・システムキッチン
- 住所：堺市西区

敦賀事業所



- 認証取得日：2000年 2月29日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
 - ・フローリング ・一体型床暖房 ・室内階段
 - ・パーティクルボード
- 住所：福井県敦賀市

山口・平生事業所



- 認証取得日：2001年12月20日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
 - ・フローリング ・パーティクルボード
- 住所：山口県熊毛郡平生町

グループ会社

永大小名浜株式会社



- 認証取得日：2006年3月25日
- 適用規格：JISQ14001:2004/ISO14001:2004
- 登録番号：RE0466
- 製品
 - ・室内ドア ・フロゼット ・造作材 ・室内階段
 - ・パーティクルボード
- 住所：福島県いわき市

エヌ・アンド・イー株式会社



- 認証取得日：2012年4月28日
- 適用規格：JISQ14001:2004/ISO14001:2004
- 登録番号：RE0659
- 製品
 - ・MDF
- 住所：徳島県小松島市

マテリアルバランス 環境会計

マテリアルバランス

エネルギーや、水、資材 (INPUT) を有効に活用して、製品を生産しています。同時に生産過程で排出する温室効果ガスや廃棄物 (OUTPUT) の抑制に努めています。

INPUT

エネルギー

購入電力 59.5 千MWh 前年度比 4.3%増

B・C重油 3,964 kl 前年度比 25.5%増

LPG、軽油等 20.4 千GJ 前年度比 14.5%増

水 216 千m³

上水 195 千m³ 前年度比 7.0%増

工業用水 15 千m³ 前年度比 6.3%減

地下水 6 千m³ 前年度比 10.2%増



資材

研究開発



環境会計

	環境保全コスト	経済効果
研究開発活動	108	0

(単位:百万円)

製造

生産



大阪事業所



敦賀事業所



山口・平生事業所

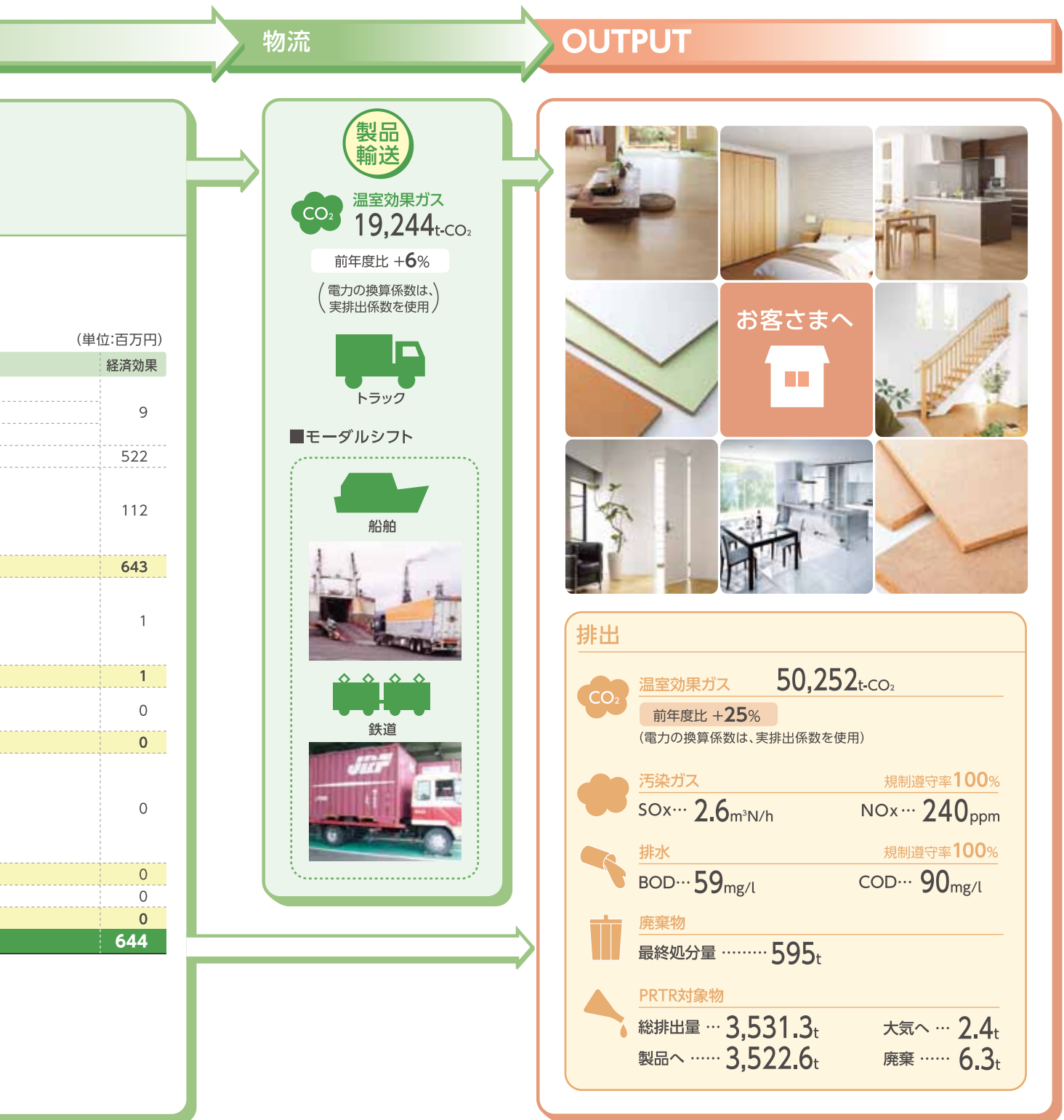
環境会計

全社的な環境保全活動を行うとともに、より効果的な環境経営を目指す目的から、環境会計で環境保全コスト、および経済効果を算出しています。

分類	主な取組の内容	環境保全コスト
事業 エリア 内活動	公害防止 大気汚染防止	114
	水質汚濁防止	18
	その他	1
	地球環境保全 地球温暖化防止及び省エネルギー	49
資源循環	歩留改善による資源利用効率の向上	181
	水資源の効率的利用	
	廃棄物のリサイクル	
	廃棄物の適正処分	
小計		363
上・下流域 活動	グリーン調達 (CoC認証材の調達など)	26
	サプライヤーの環境管理活動支援	
	環境に配慮した製品の提供	
	省資源型製品梱包材及びリターナブル梱包材の利用	
小計		26
管理活動	環境マネジメントシステムの整備・運用	21
	事業所の緑化、周辺地域の美化活動	
小計		21
研究開発 活動	環境負荷の低い素材を使用した製品の開発	108
	CoC認証材や国産木材を活用した製品の開発	
	製品リサイクル性向上の研究・開発	
	製造段階におけるVOC低減化の研究 製造段階における省エネルギー化の研究	
小計		108
環境損傷対応	水質関連補償金	0
小計		0
合計		518

- 集計範囲:大阪事業所、敦賀事業所、山口・平生事業所
- 2012年度の環境保全コストは全て、実際にかかった人件費や材料購入費などの費用を合算して計上しています。
- 環境保全コストは5億1800万円、経済効果は6億4400万円でした
- 参考にしたガイドライン:環境会計ガイドライン2007(環境省)
- 対象期間:2012年4月1日～2013年3月31日
- 集計方法:社内自主算定方法に基づいて集計

MATERIAL BALANCE



用語解説

環境会計
PRTR

事業活動における環境保全コストとその経済効果を、可能な限り定量的に測定し、伝達する仕組み。
化学物質が大気中に拡散、あるいは事業所の外に運び出される場合のデータを把握し、公表する仕組み。



社会 SOCIAL

お客様とともに

お客様からのご質問やご相談にお応えする「お客様相談センター」や、実際に製品をお確かめいただけるショールームを設置しています。

● ショールーム

北海道から沖縄まで全国15カ所に設置したショールームでは、お客様に直接製品を見て、触って、その機能を確認していただくこと、お客様の目線に立ったわかりやすい展示を心がけています。大都市圏以外のショールームではサンプル、カタログなど様々な資料を取り揃えています。



VOICE
従業員の声

お客様のための ショールームを目指します

ショールームにお越しいただいたお客様には、家族構成やライフスタイルに応じて最適なプランをご提案するとともに、迅速な見積もりを行うなど、より一層のサービス向上に努めています。今後も豊富な展示品を取り揃え、お客様にご満足いただけるショールームを目指します。



名古屋ショールーム

西川 智美

● お客様相談センター

「お客様相談センター」では、専門のスタッフがお客様のご相談に対して、迅速かつ丁寧に対応しています。また、当センターではご相談いただいた内容を分析して業務改善につなげ、より一層、顧客満足の向上を図るとともに、ご要望を取り入れた製品に改良していくための情報を社内に発信しています。

 0120-685-110

受付時間 平日9:00～19:00 土 9:00～18:00
休業日 年末年始・日祝
E-mail cs@eidai-sangyo.co.jp

● ホームページ

ホームページについては随時更新し、住まいに役立つ最新の情報をご提供しています。一般のお客様には、動画を用いて当社製品の特長をご説明するとともに、メンテナンスの方法についてもわかりやすく解説しています。またプロユーザー様には、製品のスペックや画像、施工・取扱い説明書などのほか、提案書作成に必要な情報をご用意しております。

<http://www.eidai.com>



営業体制

全国に広がるネットワークでお客をサポート

全国に41の営業拠点を設け、お客様の住まいづくりをトータルにサポートしています。



広島営業所



京都営業所



札幌営業所



福岡営業所

物流体制

全国の物流網で迅速、確実に製品を配送

全国9カ所に物流拠点を設けています。お客様のご要望にあわせ、迅速・確実に製品をお届けしています。

VOICE
従業員の声

配車業務の円滑化に努めています

お客様や実際に製品を運んでくださるドライバーの方々に感謝を込めながら、ご要望のあった時間と場所へ確実に製品をお届けしようと、日々、配車業務の円滑化に努めています。これからもお客様のニーズに応えたスムーズな配送を目指します。



敦賀生産管理部 総務課物流係

北川 香織

品質管理

顧客満足度の高い製品づくりを目指しています。

お客様に安心・安全な製品をご提供するため、顧客満足度の高い製品づくりを目指しています。品質マネジメントシステムに基づいて品質の改善に努めるとともに、工場見学会を開催して、製造の現場をご紹介します。

継続的な改善に取り組んでいます

お客様に安心してお使いいただける製品をご提供するため、品質マネジメントシステム(Quality Management System)の国際規格であるISO9001を全ての事業所で取得し、継続的な改善に取り組んでいます。

生産拠点	取得年月	番号
大阪事業所	2001年8月	JMAQA-1090
敦賀事業所	2001年7月	
山口・平生事業所	2005年4月	

※当社は2011年、3事業所で個別に取得していたISO9001の認証を統合しました。



工場見学会を実施

当社の製品づくりの姿勢をお客様にご理解いただくため、全国の製造拠点で随時、工場見学会を開催しています。見学会では生産現場を直接、ご覧いただきながら、当社の品質管理の考え方や、当社が取り組んでいる具体的な手法についてご説明しています。



地域社会とともに

地域に貢献し続ける企業を目指します

各事業所では、地域に根ざし、ともに発展していくことを目的に、美化運動のほかスポーツを通じた交流など様々な活動を展開しています。

地球温暖化対策で山口県から表彰状

山口・平生事業所は、バイオマス発電やバイオマスボイラーを活用して、二酸化炭素削減策を推し進めました。このような地球温暖化対策を積極的に行ったことが評価され、山口県から2012年10月、きらら元気ドームで他の企業とともに「地球温暖化対策優良事業所」として表彰されました。



地元の自治体から感謝状

山口・平生事業所では、スポーツ（サッカー）を通じて地域社会との交流を図っており、地元少年サッカークラブへ練習場（グラウンド）を提供しています。2012年には、地元の公民館の建て替え工事に伴い、述べ370平方メートル分の木質フローリングを寄贈しました。こうした長年にわたる活動が認められ、同事業所は平生町から感謝状を授与されました。



ひらお産業まつりに参加

山口県熊毛郡平生町は、産業の活性化を図るため、2012年11月に第1回目となる産業まつりを開催しました。産業まつりではスタンプラリー方式で、農業、漁業、工業などをテーマにした会場を巡るイベントが設けられました。地域との交流を深めるため、工業ブースの会場として参加した山口・平生事業所には、約3000人の地元の方々が訪れました。



● 地域における美化を推進

各事業所では、地域で行われる美化活動に参加し、事業所の周辺をはじめとする清掃を行っています。道路わきのごみや空き缶回収のほか、除草などを実施して、景観の維持に努めています。また、営業所でも清掃のスケジュールをたて、営業所周辺の美化活動を実施しています。



● 地元行事に参加

山口県熊毛郡平生町では、毎年8月に地域の大切な行事である「ひらお十七夜まつり」が開催されており、山口・平生事業所の従業員がスタッフとして毎回この行事に参加しています。2013年の「ひらお十七夜まつり」では、従業員が地域の方々と一緒に、行事を盛り上げました。



従業員とともに

安全で、働きやすい職場づくりに力を入れています

永大産業は従業員が安全に働ける職場づくりを目指し、特に大きな機械設備を扱う事業所では、最高安全衛生委員会を通じて、社内事故の防止に努めているほか、コミュニケーションの円滑化や緑化活動にも力を入れています。

● 最高安全衛生委員会で 事故を未然に防止

生産現場における安全衛生の向上を図るため、各事業所の担当で構成する最高安全衛生委員会では、定期的に会合を開き、現場の安全確認や情報交換会を開催しています。万が一、事故が起こった場合には原因を究明し、再発防止策を徹底させるほか、それを他の事業所にも水平展開して、事故を未然に防止するよう努めています。



● より快適な職場づくりを目指し、 社内緑化運動を推進

敦賀事業所では快適な職場づくりを目指し、社内における緑化運動を推進しています。昨年は、地元の住民の方々や多くのお取引先に、緑に囲まれた美しい職場を見ていただきたいとの願いから、事業所正門前を流れる川の堤に沿って、シバザクラの苗木を500本植栽しました。





コーポレート・ガバナンス CORPORATE・GOVERNANCE

コンプライアンス

コンプライアンス(法令遵守)の強化に努めています

コンプライアンスとは「法令遵守」と訳され、法律を遵守することはもちろんのこと、社内の規程や企業倫理などの規範を守って行動することとされています。永大産業のコンプライアンスは、このような法律や社内規程などの遵守にとどまらず、当社で働くすべての人々が、より高い倫理観・価値観を共有することを目指しています。

● 永大産業企業行動憲章

コンプライアンスの一環として、2004年9月に制定した「永大産業企業行動憲章」は、当社が事業活動を継続する中で最低限遵守すべき事項として、社内はもとより社外にも公表し、

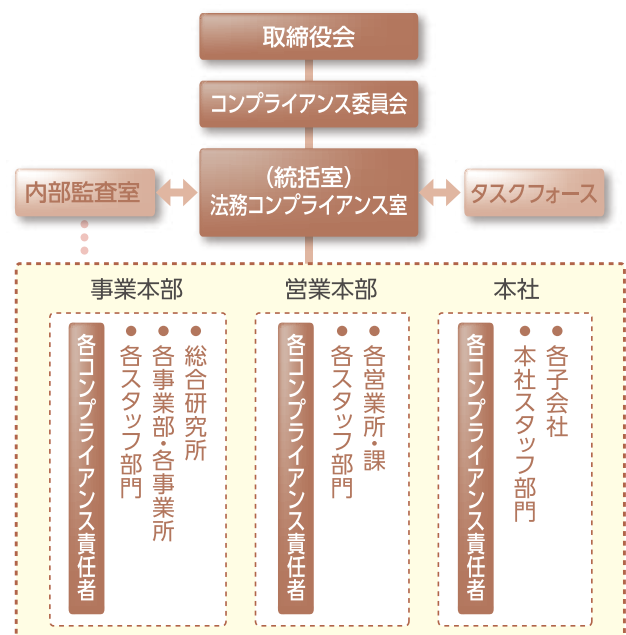
企業の社会的責任としてコンプライアンスに対する考え方や姿勢を宣言しています。



● 全社一丸となってコンプライアンス活動を推進します

全社一丸となってコンプライアンス活動を推進するために制定した「コンプライアンス・マニュアル」には、役員及び従業員の役割のほか、組織体制やコンプライアンス意識高揚のための啓蒙活動についても定めており、「高い企業価値の創造」の実現を目指しています。コンプライアンス委員会は、横断的にコンプライアンスの具体的計画などの重要事項について協議を行います。また法務コンプライアンス室は、統括室として教育、助言などの全社的な取り組みを進めています。タスクフォースは同室に対して、実務面から調査、報告、提案を行い、コンプライアンス活動を進めるための組織体制を整備しています。

また、日常の事業活動の中で起こり得る事例を集め、判断のよりどころとする事例集を全社員に配布するなど、身近なところでも、コンプライアンスへの理解を深める取り組みを行っています。



コーポレート・ガバナンス

監査・監督機能を強化し経営活動の透明性に努めます

監査・監督機能を強化し経営活動の透明性に努めます。企業価値を高め、社会やさまざまなステークホルダーから信頼されるために、内部統制システムを含めたコーポレート・ガバナンス体制の充実が、経営の最重要課題であると考えています。

● コーポレート・ガバナンス体制

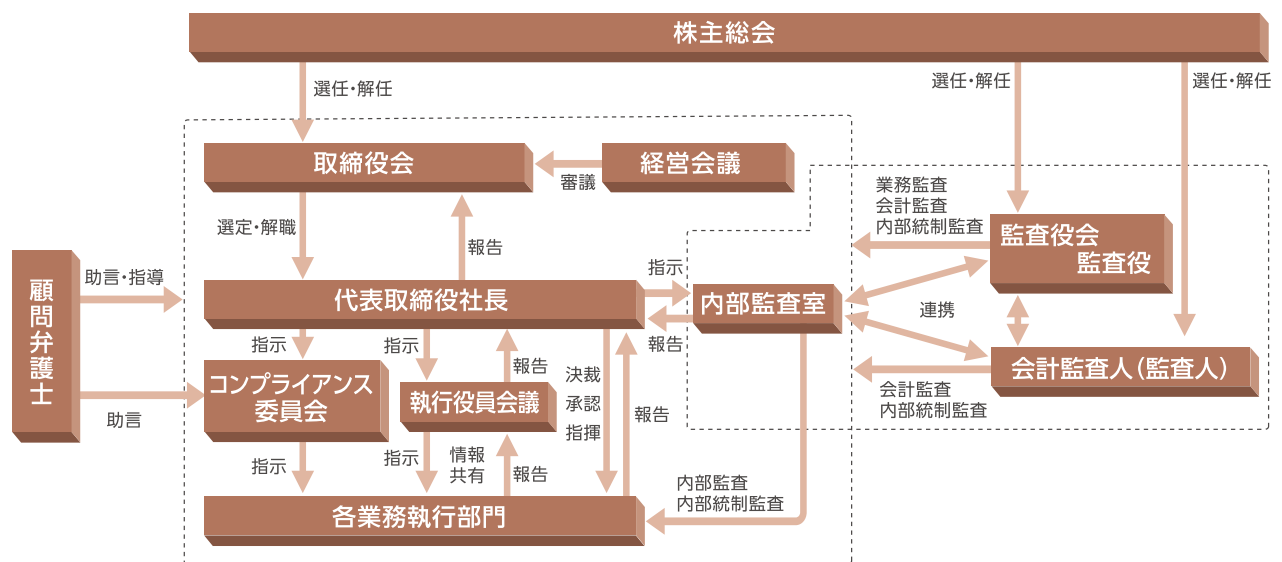
コーポレート・ガバナンス体制の充実のために、経営監視機能の強化、経営効率の改善等に取り組むことで、企業価値の向上を目指しています。

取締役の任期は1年とし、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制の構築を図るとともに、年度における取締役の経営責任をより一層明確化させ、株主総会での信任の機会を増

やし、株主による経営監視体制を強化しています。

また、取締役会には2名の社外監査役が出席し、専門的な視点や客観的な立場から必要に応じて意見を述べるなど、社外からの監視・監督が十分に機能する体制となっています。さらに、監査役は取締役会の他にも重要な会議に出席し、取締役の職務執行について厳正な監視を行っています。

■ コーポレート・ガバナンス及び内部統制の体制図



● 内部統制システムの基本方針

内部統制システムの整備に関する基本的な考え方を「内部統制システム構築の基本方針」として、経営管理体制やリスク管理体制など10項目を定めています。

内部統制システム構築の基本方針

1. 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
3. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
4. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
5. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
6. 当社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制
7. 監査役を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
8. 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制
9. 監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
10. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及び体制の整備状況

リスクマネジメント

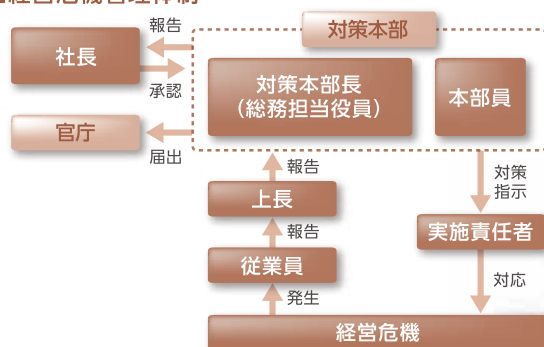
さまざまなリスクに対する危機管理体制の強化を図っています

経営危機管理

当社では、リスク管理意識の向上に取り組んでおり、経営危機発生の回避、リスクの未然の防止、経営危機発生時の損失の最小化を期すため、「経営危機管理規程」を定めて対応しています。

この規程ではすべての従業員は常に経営危機につながる事象の発生防止に努め、これらの発生に対し万全の注意を払わねばならないとしています。万一、経営危機が発生した際には、直ちに対策本部を設置して危機の解決もしくは回避のために全力を尽くすよう定めています。

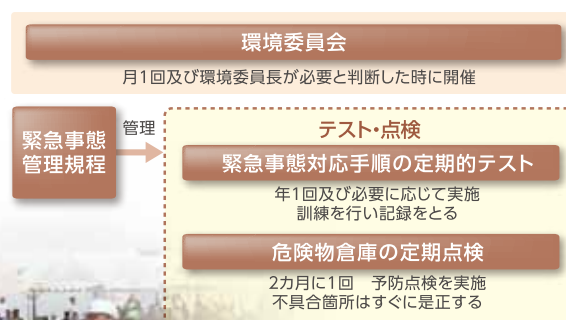
■ 経営危機管理体制



事業所におけるリスクマネジメント

環境マネジメントシステムに則り、緊急事態が発生または発生する恐れのある場合や、官公庁・地域住民等から緊急要請を受けた場合を想定し、事業所別に緊急事態の対応策を定めています。

各事業所では、この緊急事態管理規程に基づき、近隣に影響を及ぼすと予測される事態や、周囲に公害発生をもたらす施設に対して、あらかじめそのリスクを抽出し、特定しています。これらのリスクを認識したうえで、事態発生の回避につとめるとともに、発生した場合の迅速な対応ができる体制をとっています。



個人情報保護

個人情報保護に関する法令を遵守し、個人情報を保護することは事業活動の基本であり、社会的責務です。

安全管理に関する「個人情報保護基本規程」を制定し、基本方針に基づき、取得する個人情報（ウェブサイトから提供された個人情報を含みます）について、個人情報を取り扱う部門ごとに管理責任者を置き、適切な管理、監督に努めています。

また、個人情報の提供先との間において、秘密保持契約の締結等の方法により、お客様の個人情報を保護するための適切な管理を実施しています。

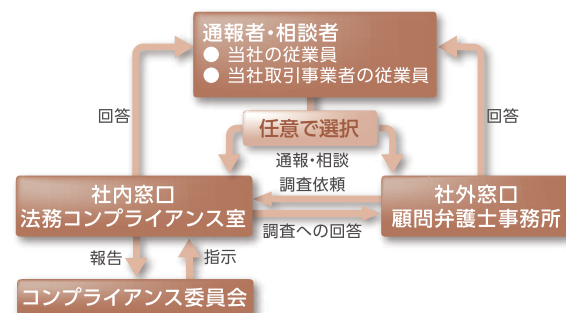
さらに、お客様の個人情報への外部からの不正なアクセスや漏洩等を防止するために、セキュリティの維持・強化にも努めています。

- ホームページの「プライバシーポリシー」に詳細を掲載しております。

内部通報者保護制度

「公益通報者保護法」を遵守するために定めた「内部通報者保護規程」のなかで、通報者・相談者は、会社の中で法令等に違反する行為が生じている、または生じようとしている場合に、社内窓口・社外窓口のどちらにでも通報・相談することができます。

なお、通報者・相談者が通報により不当な扱いを受けない仕組みを構築しています。



公正な事業慣行

社会に対して倫理的な行動を取るための体制を構築しています

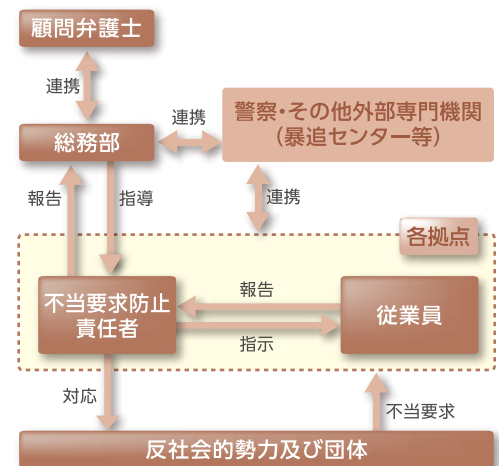
●反社会的勢力及び団体に対して毅然とした態度で対応します

反社会的勢力及び団体に対しては毅然とした態度を貫き、断固として対決することが企業の社会的責任を全うするうえで必要不可欠です。そのため、従業員が反社会的勢力及び団体と関与しないように、服務規律として就業規則に明記するだけでなく、これらの団体と向き合うための基本方針や具体的な対応策についての詳細を「反社会的勢力排除マニュアル」に定めて

います。また、取引先の属性をチェックし、取引基本契約書に暴力団排除条項を導入するなど、管理体制の徹底を図っています。経営トップから従業員に至るまで、反社会的勢力からの不当・不法な要求に屈することなく、一切の関係を遮断するため、全社一丸となって組織的な取り組みを実践しています。

「反社会的勢力排除マニュアル」基本原則概要

- 反社会的勢力からの不当要求に直接対処する従業員の安全を確保し、組織として対応する
- 反社会的勢力に備え、警察、その他外部専門機関との緊密な連携関係を構築する
- 反社会的勢力とは一切の関係をもたない
- 有事において民事と刑事の両面から法的対応を行う
- 反社会的勢力からの不当要求が、事業活動上の不祥事などを理由とする場合でも、事実を隠蔽するための裏取引は絶対に行わない
- 反社会的勢力への資金提供は、絶対に行わない



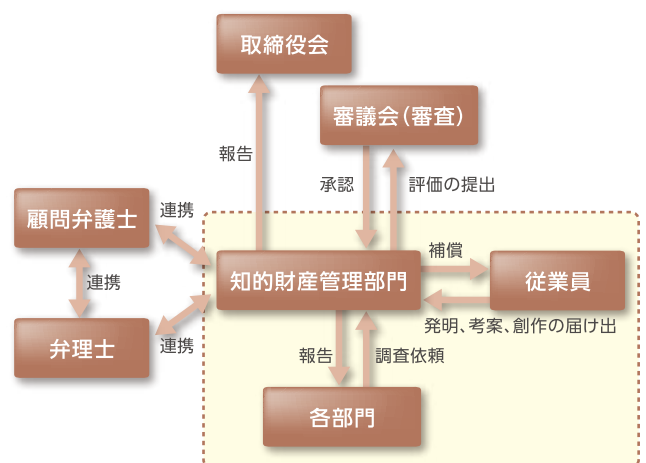
●知的財産権で競争力を強化

財産権の保護ならびに活用を重視し、特に知的財産権については迅速に調査を行い、より多くの権利保有に力を入れています。また、新製品の発売にあたっては、他社の権利を侵害しないよう、事前に綿密な調査を実施しています。当社では他社に先駆けた権利の取得によって、競争力の強化に努めています。



●発明などに適正な対価を補償

当社では保有する知的財産の管理、保護に力を入れています。発明、考案、創作に関する取り扱いを明確にし、適正な補償を行うことによって、意欲の向上を図っています。さらに具体的な判断基準を設け、発明、考案、創作の定義や補償に対する内容を明らかにしています。





<http://www.eidai.com>

永大産業株式会社

〒559-8658 大阪市住之江区平林南2-10-60 TEL 06-6684-3000(代)

お問い合わせ先：経営企画部 CSR推進室 TEL 06-6684-3062 FAX 06-6684-3068



この印刷物は環境に配慮して、石油系溶剤の一部を植物油に替えた「植物油インキ」を使い、ISO14001 認証工場において、廃液の出ない「水なしオフセット印刷」で印刷しています。



この印刷物はより多くの方が見わけやすい色づかいや形、線種を用いるなど、カラーユニバーサルデザインの考え方を意識して制作いたしました。

Color Universal Design



A626Ze1311dnDN第1版

2013.11